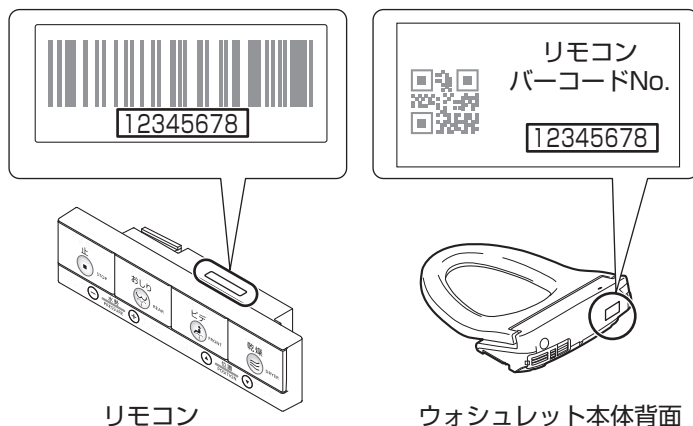


工事店様へ

- 施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- 電気配線工事は必ず資格を持った電気工事士が行ってください。
- ウォシュレット本体とリモコンは「組み合わせ設定」されています。同梱以外のものを取り付けしないでください。

ウォシュレット本体と
リモコンバーコードNo.(8桁)で、
組み合わせを確認してください。

例)バーコード No.12345678の場合



安全上のご注意	2
取り付け前のご注意	3
同梱部品	4
現場手配・準備部材	4
各部のなまえ	4

1 ライニング内の給水ホース・電源コードの取り回し	5
2 分岐金具の接続	6
3 ウォシュレット本体の取り付け	6
4 リモコンの取り付け	9

試運転	13
組み合わせ設定	14
給水フィルターの掃除 (試運転後)	14
ウォシュレット本体引き出し動作の確認	15
製品引き渡しまでの期間が長い場合	16
工事店様へ	16




安全上のご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。



 警告	死亡や重傷を負う可能性がある内容です。	 注意	傷害や物的損傷が発生する可能性がある内容です。
------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------

絵表示の例

	してはいけない「禁止」の内容です。		必ず実行していただく「強制」の内容です。
-----------------------------------------------------------------------------------	-------------------	-----------------------------------------------------------------------------------	----------------------

 警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none">●浴室など湿気の多い場所には設置しない (火災や感電の原因になります。)●指定する電源(交流 100V)以外では使用しない (火災や発熱の原因になります。)●電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいまま使用しない (火災や感電の原因になります。)●水道水および飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しない (故障や皮膚の炎症などを起こす原因になります。)●コンセントは給水位置の真下に設置しない (結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)●給水ホースは、電源プラグ、コンセントに接触させない (結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)●電源プラグ、電源コードや電源ケーブル(VVFケーブル)を破損させることはしない (火災、感電、発熱、ショートの原因になります。)●リモコン接続部の電源電線の芯線をリモコンハンガーに接触させない (火災や感電の原因になります。)●リモコン端子に電源電線を接続するときは無理な力を加えない (端子が破損して火災の原因になります。)●車輜・船舶など、移動体への設置はしない (火災や感電、ショート、故障などの原因になります。) (便座・ウォシュレット本体などがはずれて落下し、けがをする原因になります。)
 必ず実行	<ul style="list-style-type: none">●ウォシュレット用電源プラグは根元まで確実に差し込む (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。)●電源電線をリモコンの端子に差し込むときは根元まで確実に差し込む (火災の原因になります。)●リモコン接続用の電源電線は VVF ケーブル 2 芯φ1.6 またはφ2.0 銅単線を使用する (これ以外の電線を使うと火災の原因になります。)●電気工事は「電気設備技術基準」や「内線規定」に従って確実に行う (火災や感電の原因になります。)●アース(D種接地)を確実に取り付ける (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)

⚠ 注意

 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none">● 便座を持って製品を持ち上げない (ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)● 給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない、カッターなどで傷つけない (水漏れの原因になります。)● 止水栓を開けたまま、給水フィルター付水抜栓を取りはずさない (水が噴き出します。)
 <p>必ず実行</p>	<ul style="list-style-type: none">● 施工は施工説明書に従って確実にを行う (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)● 給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める (確実に締めないと水漏れの原因になります。)● ウォシュレット本体は、ベースプレートに確実に押し込む (「カチッ」と音がするまで押し込んだ後、軽く手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。) (ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)

取り付け前のご注意

1. 製品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。
 2. 便器に取り付ける前に、ウォシュレット本体にベースプレートをセットして通電しないでください。故障の原因となります。
 3. 電源は交流100V (50/60Hz)、定格消費電力はウォシュレット部：1260W、リモコン：1Wです。この電力に適した配線をしているか確認してください。
 4. ウォシュレット電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
 5. ウォシュレットの給水圧力範囲は0.05MPa (流動時) ~0.75MPa (静止時) です。この圧力範囲でご使用ください。
 6. 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
 7. 同梱以外の給水ホース、分岐金具を使わないでください。
 8. ウォシュレット本体とリモコンはID設定されていますので、同梱以外のものを取り付けしないでください。(同梱以外のものを取り付けると作動しません。)
- ※ 出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

同梱部品

※使用しない場合は、必ずお客様にお渡しください。

<p>リモコン部品</p> <p>リモコン ハンガー 押え板</p> <p>タッピンねじ (Φ4×30 4本) アンカープラグ (4本) 六角穴付ボルト (M3×12 2本) タッピンねじ (Φ3×8 1本)</p>	<p>分岐金具一式 (分岐金具ありのみ)</p> <p>パッキン (2枚) (1枚予備)</p>	<p>ベースプレート一式 ※分解しないでください。</p> <p>ボルト 固定板 ゴムブッシュ</p>	<p>ブッシュ</p> <p>印刷物</p> <p>施工説明書(本書) 取扱説明書 使いかたラベル</p>
<p>信号線</p>			

現場手配・準備部材

<p>ブッシュ取り付け用</p> <p>合成ゴム系接着剤</p>	<p>リモコン取り付け用</p> <p>電源電線 VVF ケーブル 2 芯 φ 1.6 または φ 2.0 銅単線</p> <p>六角レンチ (呼び 2.5)</p>
-----------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------

各部のなまえ

リモコン
止 (STOP) おしり (SEAT) ビデ (BIDET) 乾燥 (DRYER)
ウォシュレットリモコン

ウォシュレット本体右後方部

ウォシュレット本体右側面
本体取りはずしボタン (約30mm奥にあります)

止水栓
ウォシュレット止水栓※
分岐金具 止水栓

ウォシュレット本体左側面

給水ホース※
着座スイッチ (内蔵)
ベースプレート
信号線※
電源プラグ※
アース線※
止め玉※
クランプ※

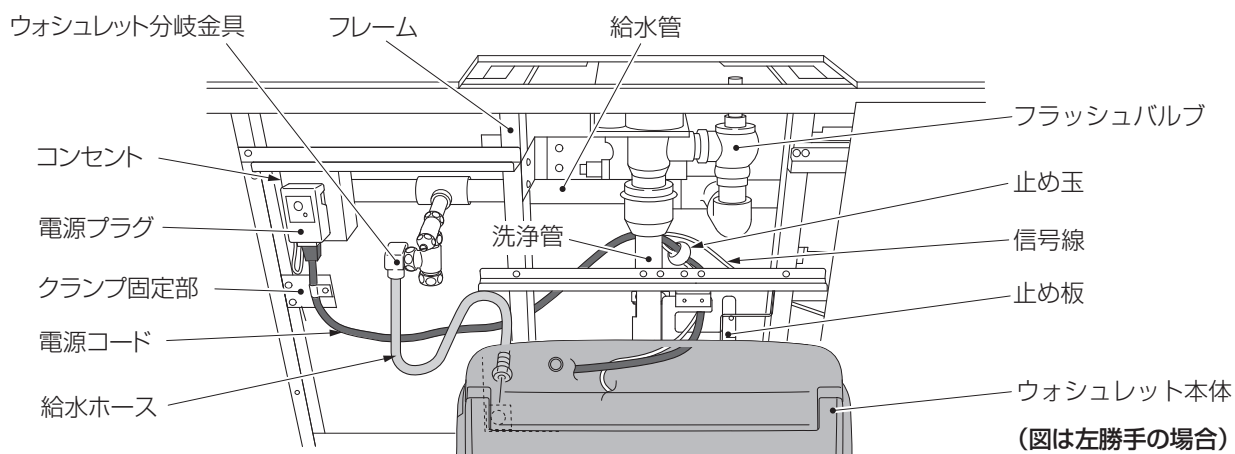
ブッシュ
温風吹出口カバー
ノズル
暖房便座

※ライニング内にあります。

取り付けかた

① ライニング内の給水ホース・電源コードの取り回し

各部のなまえ



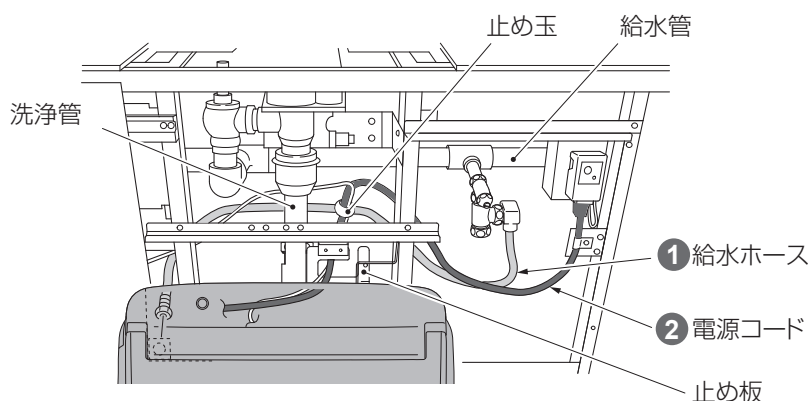
右勝手の場合

1 給水ホース

- ライニング内に入れて大便器に向かって右方向に振る
- 洗浄管の奥を通す
- 給水管の下を通す

2 電源コード

- 給水管の下を通す
- 止め玉が止め板の奥にくるよう電源コードを通す



確認項目

給水ホース・電源コード・信号線が配管や配管支持材などに引っ掛かっていないことを確認してください。

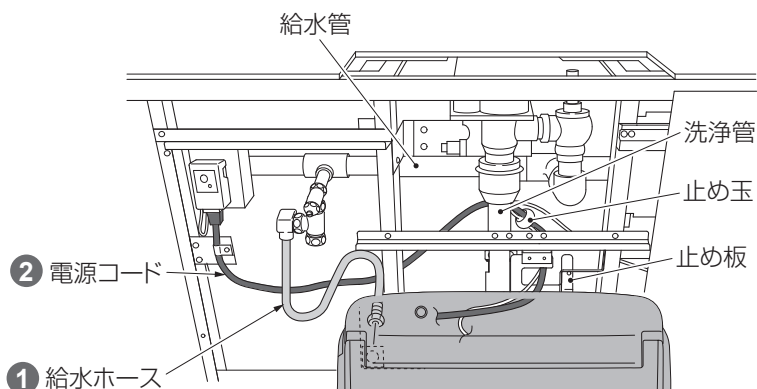
左勝手の場合

1 給水ホース

- ライニング内に入れて大便器に向かって左方向に振る
- 給水管の下を通す

2 電源コード

- 洗浄管の奥を通す
- 給水管の下を通す
- 止め玉が止め板の奥にくるよう電源コードを通す

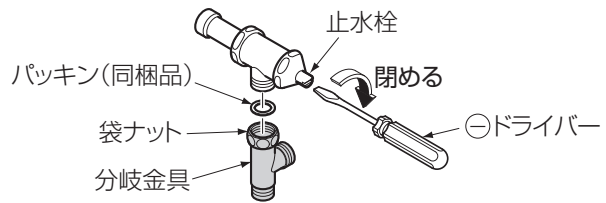


確認項目

給水ホース・電源コード・信号線が配管や配管支持材などに引っ掛かっていないことを確認してください。

2 分岐金具の接続 ※止水栓はライニング内にあります。

1 止水栓を閉める



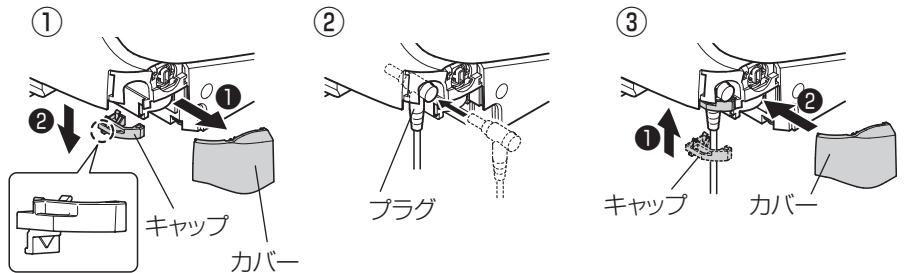
2 分岐金具の袋ナットを止水栓に締め付ける

3 ウォシュレット本体の取り付け

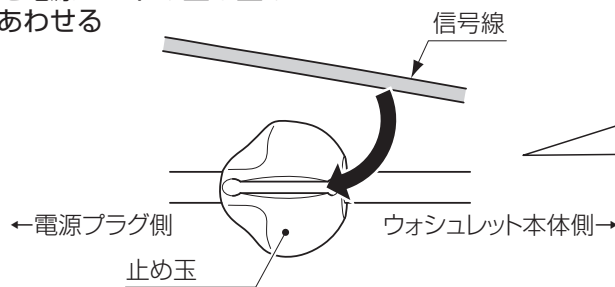
1 ウォシュレット本体と信号線の接続

① フック(差し込み口用)を取り付ける

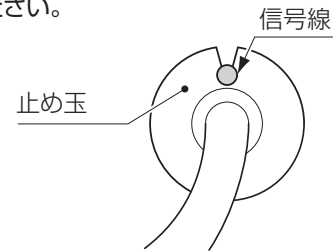
- ① カバーとキャップをはずす
- ② 信号線を根元まで確実に差し込む
- ③ キャップとカバーを取り付ける



② 信号線を電源コードの止め玉のみぞにあわせる

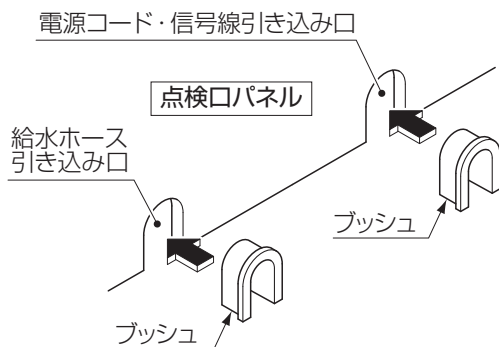


信号線を図のように奥まで押し込んでください。

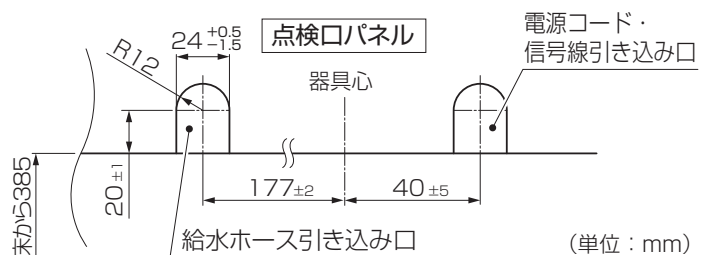


2 ブッシュの取り付け

- 点検口パネル加工部2カ所(給水ホース引き込み口、電源コード・信号線引き込み口)に現場手配の合成ゴム系接着剤でブッシュを取り付けます。



※点検口パネルが加工されていない場合は、図のとおり穴をあけ現場手配の合成ゴム系接着剤でブッシュを取り付けてください。

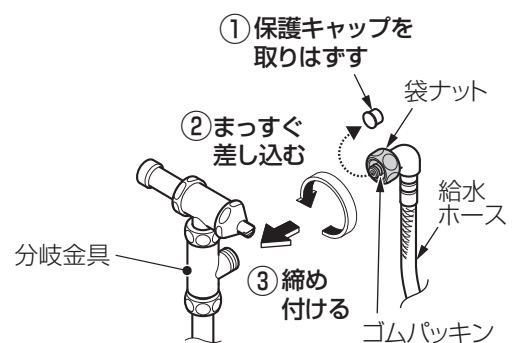


3 分岐金具と給水ホースの接続

① 給水ホースをライニング内に取り回す

(P.5 **ライニング内の給水ホース・電源コードの取り回し** 参照)

② 給水ホースの袋ナットを分岐金具に取り付ける



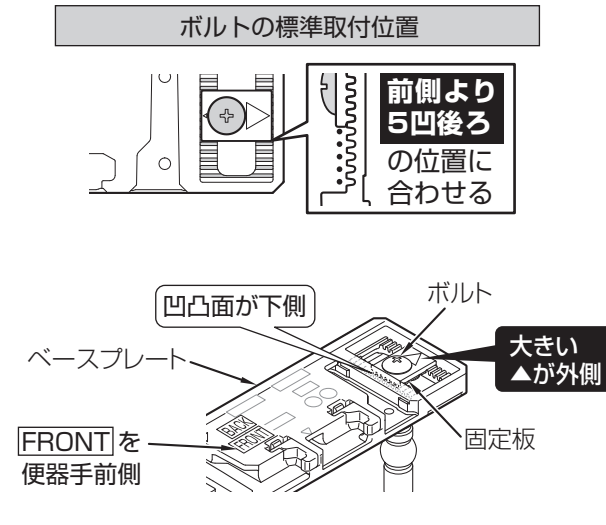
4

便器への取り付け

① ベースプレートをセットする

注意 ベースプレート部品を分解しないでください。

① ベースプレートのボルト取付位置を調整する



- ② ゴムブッシュを便座取付穴に差し込む(左右2カ所)
 ● ゴムブッシュの表面を水でぬらしておく
 差し込みやすくなります。

② ベースプレートを固定する

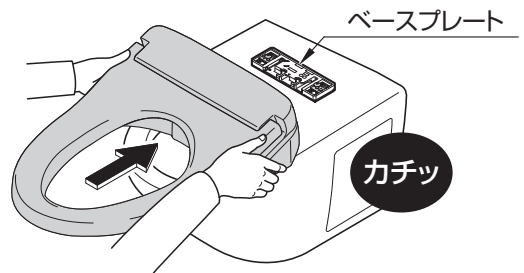
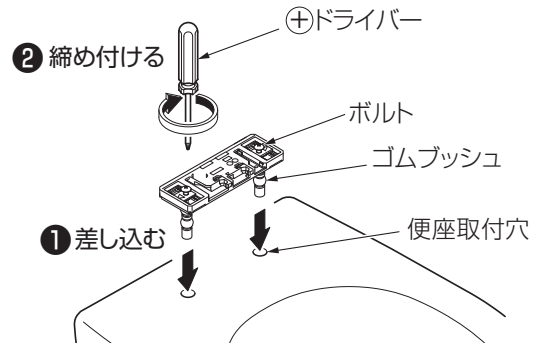
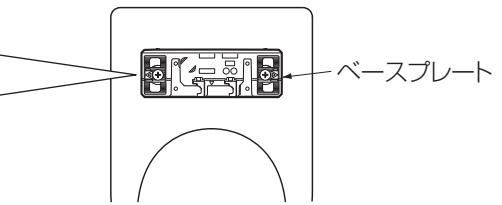
- ベースプレートを手でしっかり押さえ、ボルトを⊕ドライバーで回らなくなるまでしっかり締め付けてください。

③ ウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまでベースプレートに押し込む

- ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心が合うようにして、本体を押し込むと位置が合わせやすくなります。

注意

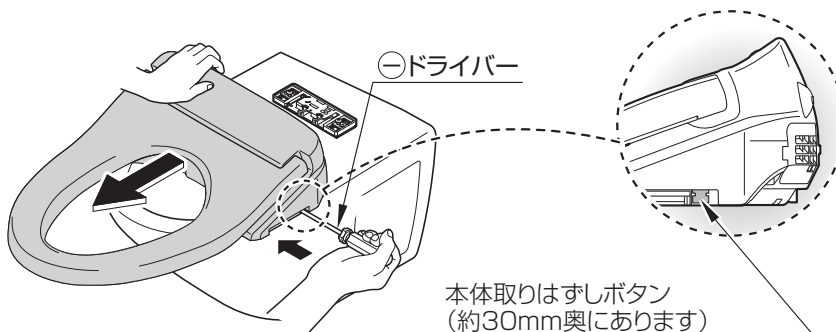
正しく取り付けなかった場合は、ウォシュレット本体をはずしてベースプレートをセットし直してください。



ウォシュレット本体の取りはずしかた

ウォシュレット本体右側の本体取りはずしボタンを⊖ドライバー等で押したまま、ウォシュレット本体を手前に引く

- 電源コード、信号線、給水ホースを引っばらないよう注意してください。

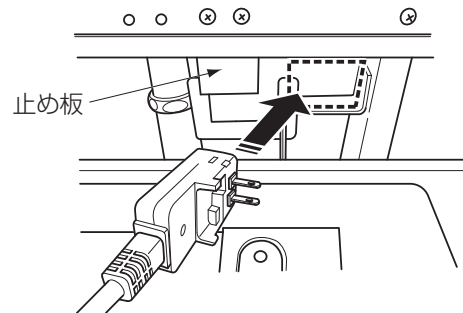


取り付けかた

3 ウォシュレット本体の取り付け(つづき)

5 信号線とフラッシュバルブコントローラの接続

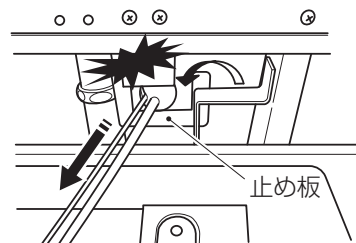
- 1 信号線・電源プラグをライニング内に引き込む
 - 止め板の右上部分から信号線、電源プラグを通してください。
- 2 フラッシュバルブコントローラのコネクタ(黒色)と接続する
 - コネクタ接続方法は、自動フラッシュバルブ同梱の説明書をご覧ください。



6 アース線の接続

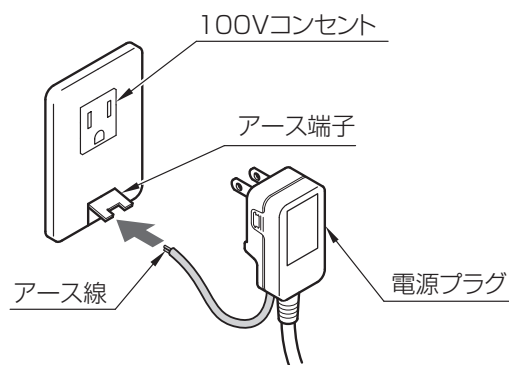
- 1 電源コードをライニング内に取り回す
(P.5 **ライニング内の給水ホース・電源コードの取り回し** 参照)

確認項目 電源コード・信号線を手前からかるく引っ張ってください。
止め板に止め玉があたり、引っ掛かることを確認してください。



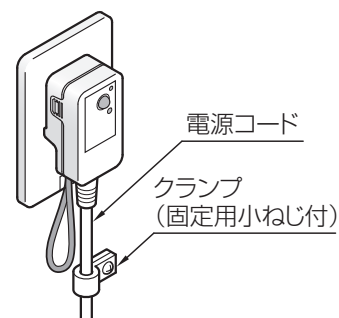
- 2 アース線をコンセントのアース端子に接続する

※アース端子がない場合は電気工事店にご相談ください。
※コンセントはライニング内にあります。



7 電源プラグの確認

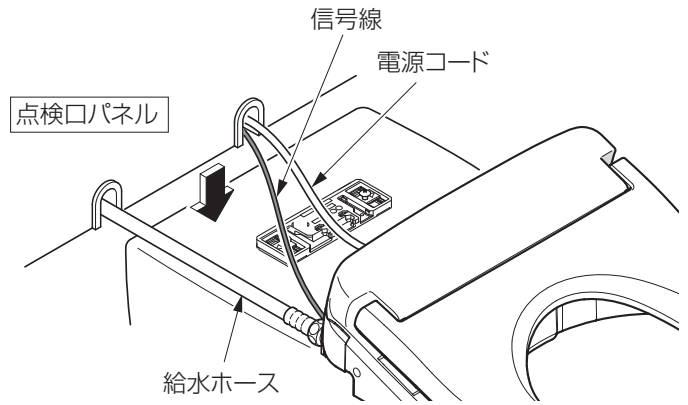
- 1 電源プラグを100V(50/60Hz)のコンセントに差し込む
- 2 電源コードを付属のクランプ(固定用小ねじ付)で固定する
(固定部については、
P.5 **ライニング内の給水ホース・電源コードの取り回し** 参照)
 - ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。



8

点検口パネルの取り付け

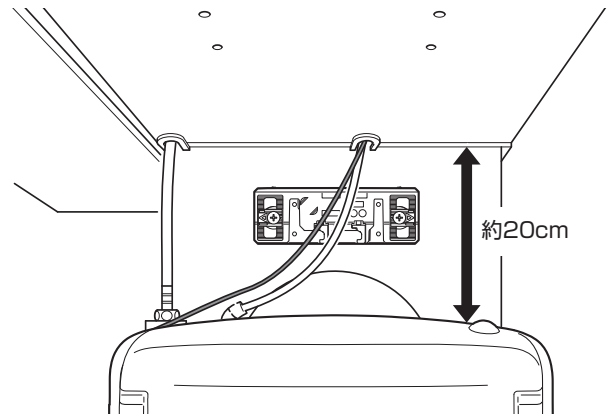
- 給水ホース、電源コード・信号線をはさまないように点検口パネルを取り付けてください。



9

ウォシュレット本体の取り付け

- 1 ウォシュレットを取り付けたり取りはずしたりできるかを確認する
- ウォシュレット本体は約20cm引き出すことができます。



- 2 ウォシュレット本体をベースプレートに取り付ける

(P.7 **3 ウォシュレット本体の取り付け** **4 便器への取り付け** 参照)

- 電源コード・信号線は、手をそえてライニング内に戻してください。
- ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。

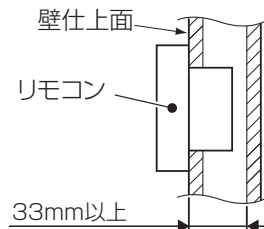
取り付けかた

4 リモコンの取り付け

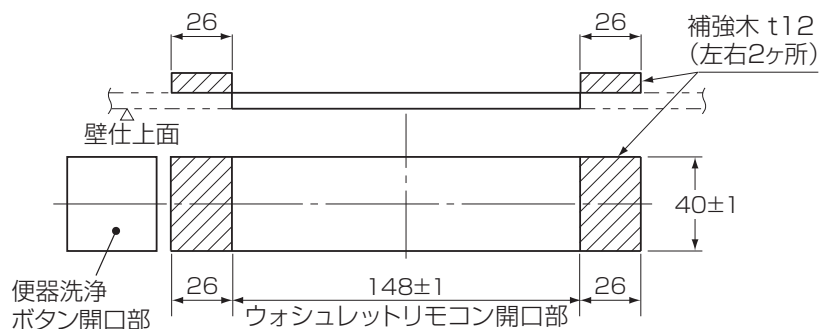
リモコン取り付けの前に

設置条件

- リモコンを取り付けるには、壁の奥行きが33mm以上必要です。



補強木情報



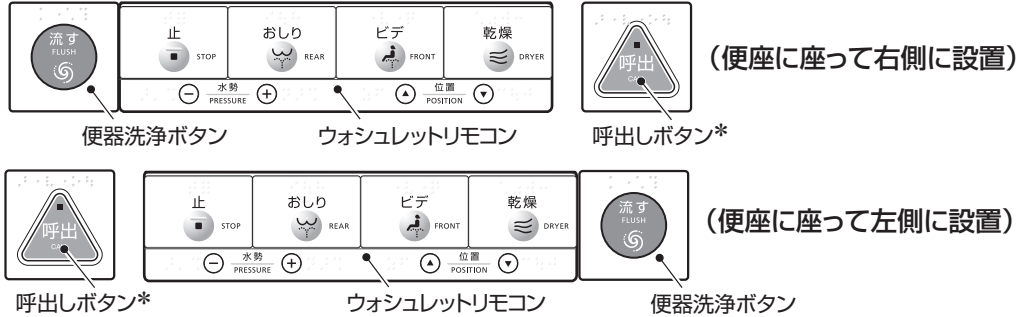
4 リモコンの取り付け(つづき)

※リモコンの取り付け位置は商品図面をご覧ください。

1 壁の開口 すでに開口されている場合 ➡ 手順 2 ハンガーの取り付けへ

注意 タイルの水洗いは、開口部を養生した状態で行ってください。

呼出しボタンを併設する場合

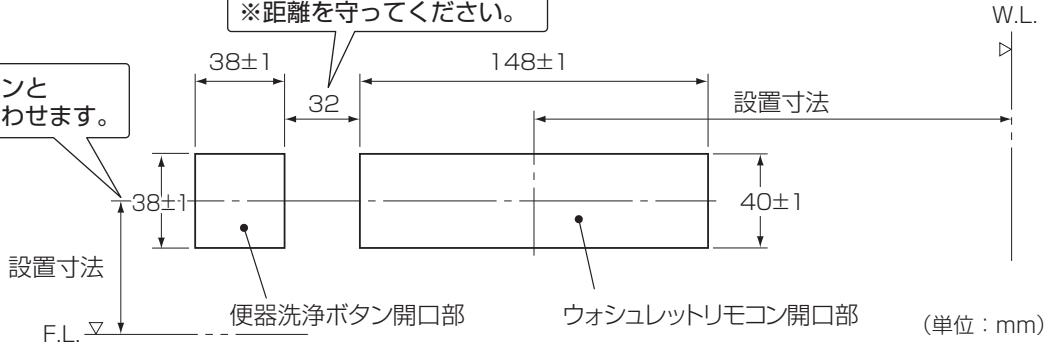


開口部を野書き、開口する

※図は便座に座って右側に設置の場合

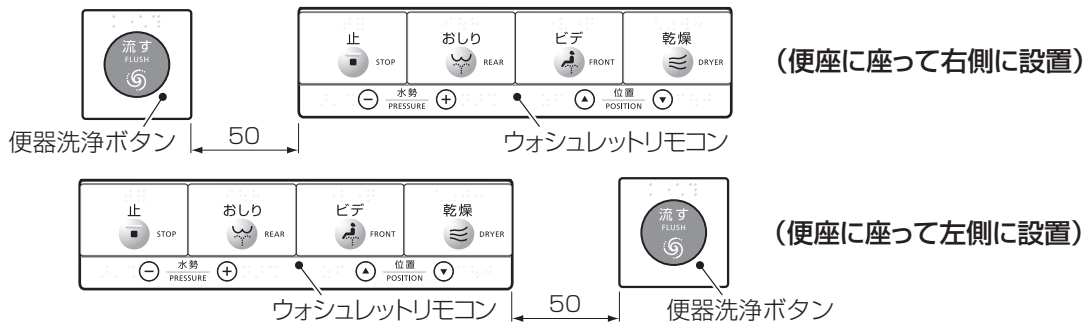
便器洗浄ボタンとの距離を
32mmあけます。
※距離を守ってください。

便器洗浄ボタンと
開口中心を合わせます。



呼出しボタンを併設しない場合

便器洗浄ボタンとの距離を50mmあけます。

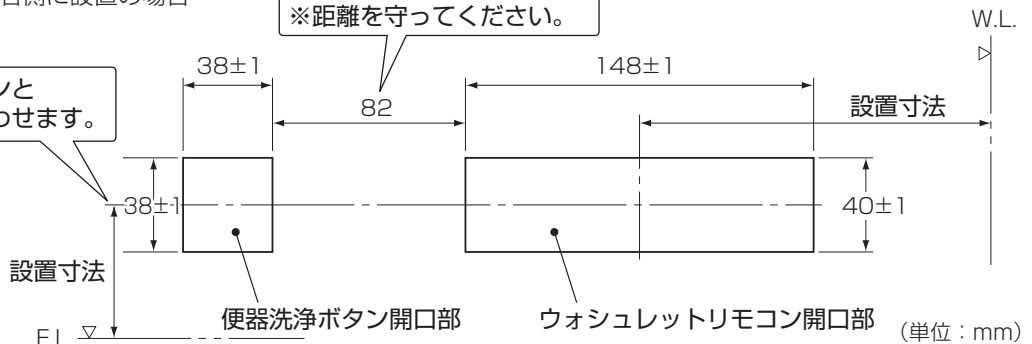


開口部を野書き、開口する

※図は便座に座って右側に設置の場合

便器洗浄ボタンとの距離を
82mmあけます。
※距離を守ってください。

便器洗浄ボタンと
開口中心を合わせます。



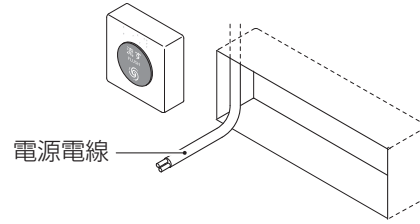
*呼出ボタンはアイホン(株)の取り扱い製品です。
(当社取り扱い製品ではありません。)

〈お問い合わせ先〉アイホン(株)お客様相談センター
TEL ☎0120-141-092 (携帯電話・PHSからのご相談はできません)
受付時間 9:00~17:30 (土・日曜、祝日およびお盆、年末年始、ゴールデンウィークを除く)

2 ハンガーの取り付け

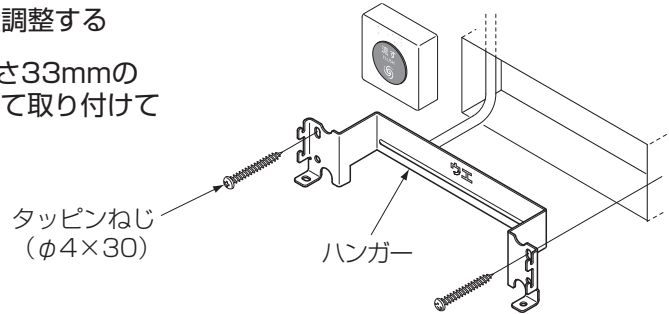
- 便器洗浄ボタンの位置を基準にして取り付けます。
便器洗浄ボタンが取り付けられていない場合は、先に便器洗浄ボタンを取り付けてください。
※便器洗浄ボタンの取り付け方は「タッチスイッチ施工説明書」をご覧ください。

① リモコン取付け用開口部より電源電線を引き出す



② ハンガーの上側の穴をねじで仮締めし、位置調整する

- 石膏ボードやタイルの壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。



●リモコンハンガーを上下に動かして調整してください。

6mm

便器洗浄ボタン

3mm (呼出ボタンを併設しない場合は53mm)

〈呼出ボタンを併設する場合〉

- 便器洗浄ボタンを左右に動かして3mmになる位置に調整してください。

3mm

〈呼出ボタンを併設しない場合〉

- 便器洗浄ボタンを左右に動かして53mmになる位置に調整してください。

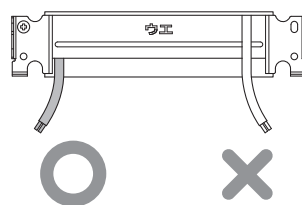
53mm

注意 ハンガーは、正しく取り付けてください。

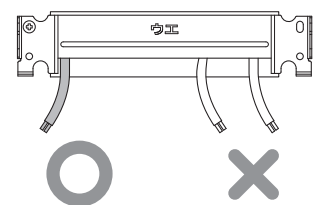
- 「ウエ」表示を上にする
- 水平に取り付ける

③ 電源電線を、図のように引き出す

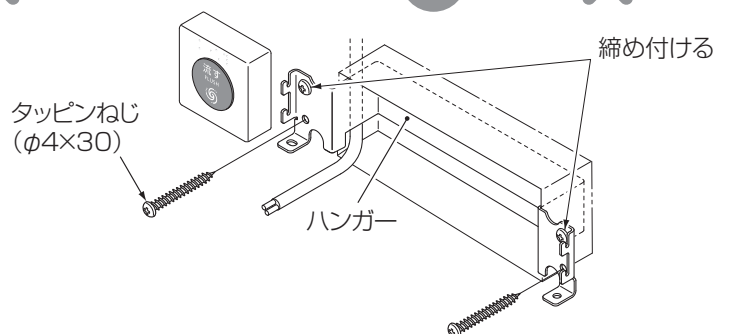
- ハンガーの後ろから引き出す



- 左下から引き出す



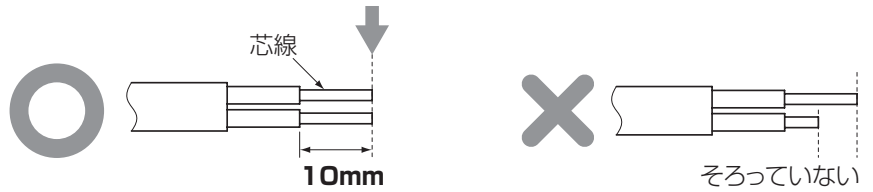
④ ハンガーの下側の穴をねじで固定し、仮締めした上側のねじも締め付ける



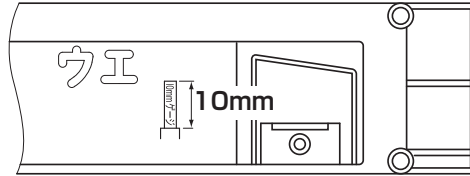
4 リモコンの取り付け(つづき)

3 電源電線の接続

① 電源電線の被覆を10mmむく

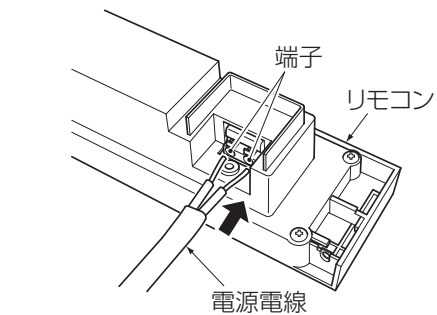


- リモコン裏側のストリップゲージで寸法を確認できます。

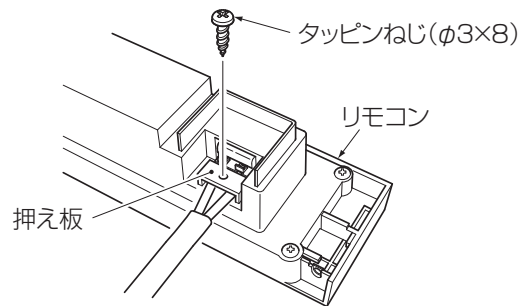


② リモコン裏面の端子に芯線を奥まで確実に差し込む

- 芯線が見えなくなるまで差し込んでください。



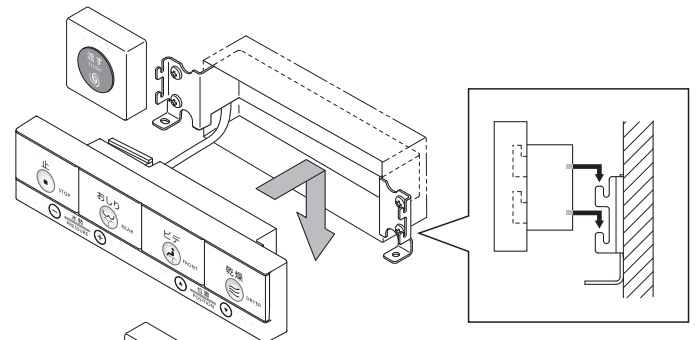
③ 押え板をリモコン裏面の穴位置に合わせて置き、ねじで固定する



4 リモコンの取り付け

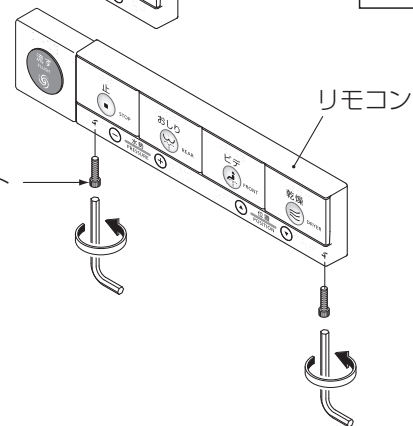
① リモコンをハンガーに取り付ける

- 配線がかみ込まないように注意してください。
- 壁やリモコンのキズ付き防止のため、壁とリモコンの間に紙を敷いてください。
- 便器洗浄ボタンとウォシュレットリモコンが干渉する場合は、便器洗浄ボタンを微調整することができます。調整のしかたは「タッチスイッチ施工説明書別紙」をご覧ください。



② ハンガーとリモコンをボルトで固定する

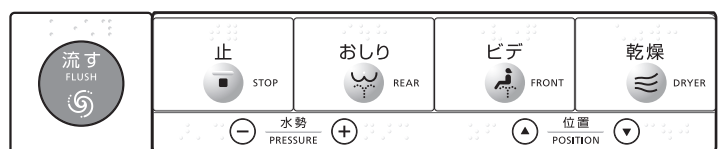
六角穴付ボルト (M3×12)



5 取り付け後の確認

リモコンがガタついていないか確認する

- ガタついている場合はボルトを増し締めするなどして、ガタつかないように取り付けてください。
- リモコン全周にシリコンを充填することをおすすめします。

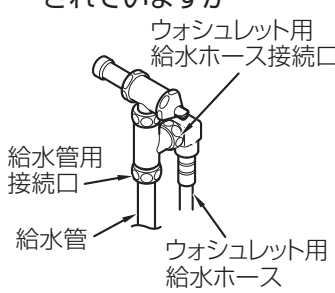


試運転 (各項目を確認後、□に✓してください)

●試運転の前および試運転完了時は、必ず電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。(ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。)

1 ウォシュレット本体の確認

給水ホースは正しく接続されていますか



手前に引っ張ったとき、ウォシュレット本体がはずれませんか
→ウォシュレット本体を、ベースプレートに「カチッ」と音がするまで押し込む

以下に当てはまりませんか

内側から便器のふちが見える


先端が便器のふちより出すぎている

ノズル部分が、便器に干渉している


パネルにあたっている

同梱部品を使用していますか

ベースプレート



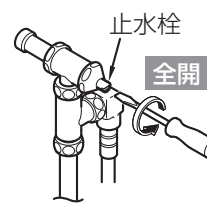
分岐金具



※従来のものと形状が異なるため、取り付けできません。 ※従来のものとシール方法が異なるため、水漏れの原因になります。

2 機能の確認

止水栓を開ける



水漏れチェック
→水漏れする場合

同梱部品を使用していますか

◎◎ (施工タイプにより一枚しか使用しない場合があります。)

パッキン 2枚

※新しいものを使用しないと、水漏れの原因になります。

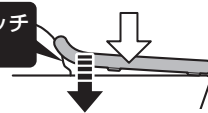
ノズルから洗浄水が出ますか

① 水でぬらしたやわらかい布 (傷つきを防ぐため)

【作動の確認】

② 便座の左側を手で押し、着座スイッチを入れる

スイッチ ON!

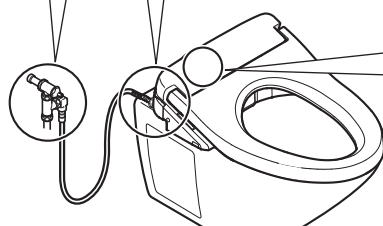


④ 「おしり」ボタンを押す

⑤ 「止」ボタンを押す

③ 紙コップ

「運転」ランプが点灯していますか



●

⏻

<運転>

リモコンが作動しないときは・・・

次の確認を行ってください。

- リモコンの電線が正しく接続されていますか？
 - ➔ 電線を正しく接続してください。(P.12 **4 リモコンの取り付け** ③ 電源電線の接続 参照)
- 電源が供給されていますか？
- 同梱以外のリモコンを取り付けていませんか？

ウォシュレット本体とリモコンはID設定されているので同梱以外のものでは作動しません。

➔ IDの再設定を行ってください。(P.14 **組み合わせ設定** 参照)

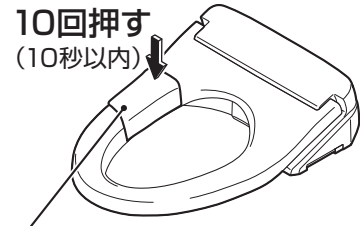
※ ID設定は複数同時に行わないでください。他のウォシュレットとID設定される可能性があります。

組み合わせ設定

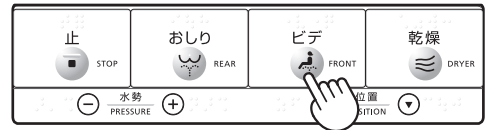
- P.13 **試運転** ② 機能の確認 でリモコンのボタンを押して作動しなかった場合のみ、「組み合わせ設定」を行ってください。
- 設定は1台ずつ行ってください。

- 1 一度電源プラグを抜き、再度差し込む
- 2 便座の左側を手で10秒以内に10回押す
→ <設定モード>に入る
- 3 「ビデ」を10秒以上押す
(「ピッ」という電子音が鳴る)
- 4 「止」を押す
→ <設定完了>

10回押す
(10秒以内)



水でぬらしたやわらかい布
(傷つきを防ぐため)



注意

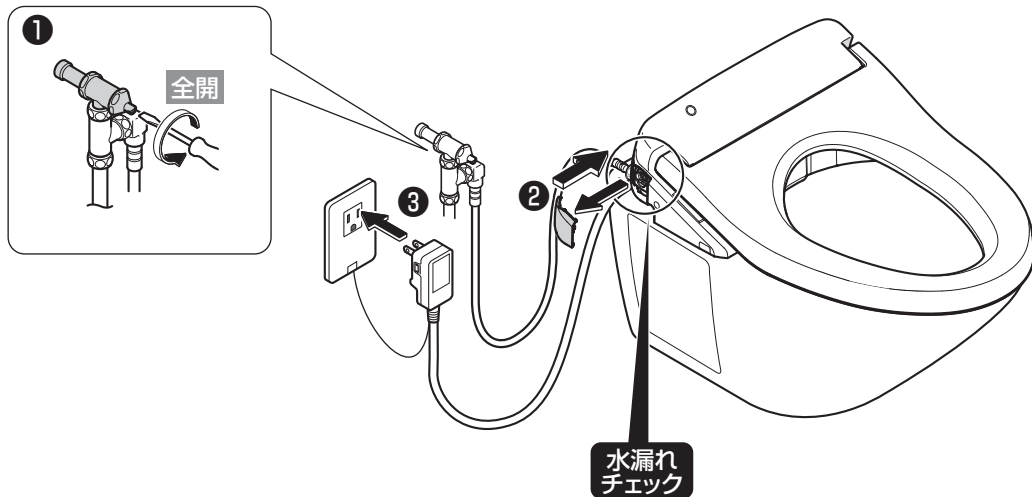
設定モードに入ってから、約2分以内に設定を行ってください。
手順 ③ で電子音が鳴らない場合は、再度手順 ① からやり直してください。

- 5 もう一度、**試運転** ② 機能の確認 を行ってください。

給水フィルターの掃除(試運転後)

- 1
 - ① 止水栓 閉める
 - ② ノズルを伸出させる ※給水管内の圧抜きです。
 - ③ 抜く
- 2
 - 1. 「止」を約10秒以上押す 「ピッ」という電子音が鳴ります。
 - 2. 「ビデ」を約3秒以上押し、ノズルを伸出させた後、「止」を押してノズルを戻す
- 3
 - ④ カバー
 - ⑤ 給水フィルター付 水抜栓
 - ⑥ 歯ブラシなど
 - ⑦ ぞうきんなど

2



ウォシュレット本体引き出し動作の確認

1

点検口パネルを取り付ける

(P.9 **3** ウォシュレット本体の取り付け **8** 点検口パネルの取り付け 参照)

2

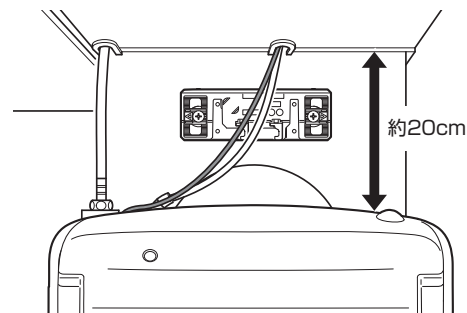
ウォシュレット本体を取りはずす

(P.7 **3** ウォシュレット本体の取り付け **4** 便器への取り付け 参照)

3

ウォシュレット本体引き出し動作を確認する

- ウォシュレット本体が約20cm引き出せることを確認してください。



4

ウォシュレット本体を取り付ける

(P.7 **3** ウォシュレット本体の取り付け **4** 便器への取り付け 参照)

- 電源コード・信号線は、手をそえてライニング内に戻してください。
- ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。

製品引き渡しまでの期間が長い場合

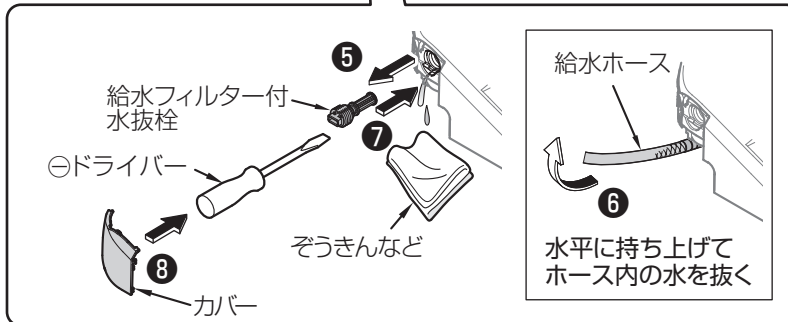
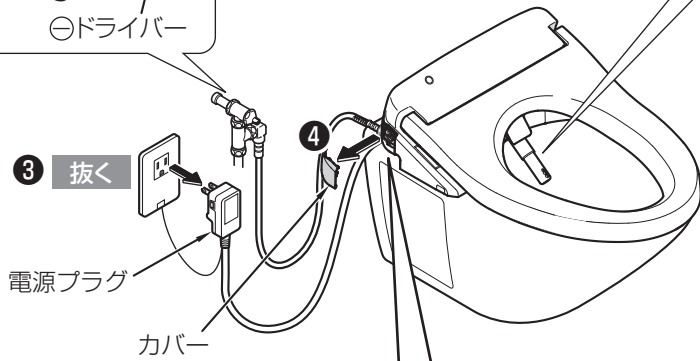
1 配管の水を抜く



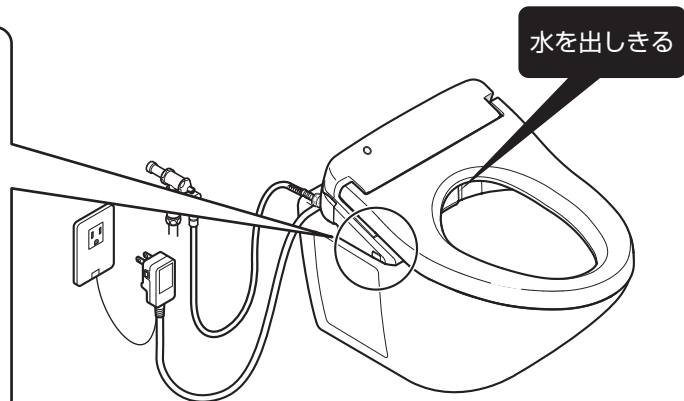
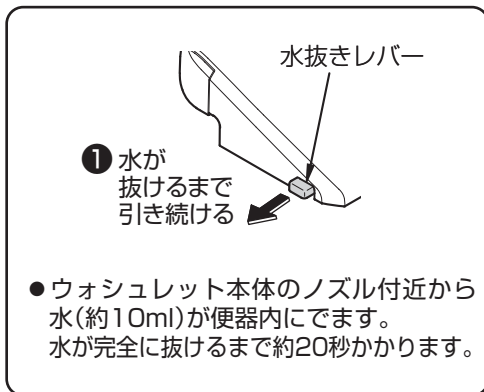
② ノズルを伸出させる ※給水管内の圧抜きです。

→P.14 **給水フィルターの掃除(試運転後)**

①-②参照



2 ウォシュレット本体内の水を抜く



■凍結のおそれがあるときは

- ・便器のたまり水に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分するようにお客様にお伝えください。)

工事店様へ

- 取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などでお客様に製品を引き渡すまでの期間が長いときは、止水栓を閉め、電源プラグを抜いてください。
- 使いかたラベルは、取扱説明書の袋に入っています。お客様に確認を行い、貼り付けてください。